

News Release

平成 15 年 4 月 30 日

『IPv6 準備 OK?』

～世界的 IPv6 ロゴ・プログラムの議長に、IPv6 普及・高度化推進協議会の江崎氏が就任～

IPv6 普及・高度化推進協議会

概要

【ルクセンブルグ 2003 年 4 月 28 日】 ユーザの製品選択に際して心証形成に資するため、製品の IPv6 テストや適合性テストを行い、相互運用性が認められた製品に対して IPv6 固有のロゴを付与する世界的 IPv6 ロゴ・プログラムとして『IPv6 Ready』プログラムの実施が確定され、その議長として、これまで IPv6 普及・高度化推進協議会においてサーティフィケーション・ワーキンググループの主査を務め、当該の件において各国と調整を進めてきた江崎浩（えさき ひろし、IPv6 普及・高度化推進協議会専務理事）が就任いたしました。

背景・経緯など

次世代インターネットの応用技術やサービスを考える上で IPv6 は重要且つ不可分な存在となります。これに対して、これまで世界的な IPv6 普及促進団体である IPv6 フォーラムを要に産業界が一丸となって、この次世代インターネットプロトコルの開発および運用が推進されてきました。限られた小集団間による利用に端を発した IPv4 とは逆に、普遍性を担う IPv6 は当初から膨大な数の利用集団を想定しています。

一方でインターオペラビリティ（相互運用性）の確保は、インターネットの世界では、論を待たない必要条件と認識されています。膨大な参画者数を誇る IPv6 市場にとって、多様な IPv6 製品の相互運用性の実現程度を厳正に現すシンボル（本プログラムではロゴ）の提供は、避けて通れない問題と言えます。

これらの課題を鑑み、ユーザの製品選択に際して心証形成に資するため、この度 IPv6 Forum を中心に IPv6 固有のロゴ・プログラムが確定されるに至りました。IPv6 ロゴ・プログラムの確定においては、国際的タスクフォースが形成され、江崎浩議長のほか、Cesar Viho 氏（仏 Irisia）、Ben Schultz 氏（米国 UHN-IOL）、宮田宏氏（日 TAHI プロジェクト）らが参加し、2 年間活動を続けてきました。

なお、本プログラムの骨格を成す IPv6 テストや適合性テストの実施機関およびイベントとして下記等が挙げられます。

University of New Hampshire Inter Operability Lab : <http://www.iol.unh.edu/>TAHI Test Event : <http://www.tahi.org/>ETSI IPv6 Plugtest : <http://www.etsi.org/plugtests>IRISIA : <http://www.irisa.fr/tipi>Connectathon : <http://www.connectathon.org/>

裏面に続く

江崎浩議長のメッセージ：

「IPv6 インフラを構築する種々の部品に適用できる、世界に一つしかない、評価基準を策定することは、大変重要なことです。WIDE プロジェクトは 1998 年以来 TAHI プロジェクトを立ち上げ、種々の機器に内蔵される IPv6 プロトコルの評価と検証の手段を提供するべく努力を傾けてきました。IPv6 ロゴ・プログラムを主導できることを、世界規模における IPv6 の運用および展開にこのプログラムが占める重要性に鑑み、大変名誉に感じています。」

IPv6 普及・高度化推進協議会について

慶應義塾大学村井純教授を会長に、郵政省（当時、現総務省）をオブザーバに迎え、平成 12 年 10 月に設立。IPv6 による次世代インターネットの普及推進を目的としています。平成 13 年 10 月に第三回総会の開催にあたり新規の会員募集を行い、組織および事業の拡充を行いました。平成 15 年 3 月 14 日現在、320 社・団体・個人の会員によって構成されています。事務局は株式会社三菱総合研究所並びに三井情報開発株式会社総合研究所。詳細につきましては <http://www.v6pc.jp/> をご覧ください。

IPv6 Forum について

多くの先進的インターネット関連事業者や研究・学術機関からなる世界的なコンソーシアムで、IPv6 の普及促進を目的としています。会員数は 2002 年時点で 150 以上となっている。各地で行われている Global IPv6 Summit の中核を成している。代表は Latif Ladid 氏。

以上

本件に関するお問い合わせ先

IPv6 普及・高度化推進協議会 事務局

〒101-0047 東京都千代田区内神田 2-3-4 国際興行神田ビル 6F JPNIC 内

Tel. 03-5209-4588 Fax. 03-3255-9955 E-mail info@v6pc.jp <http://www.v6pc.jp/>